（別添7）

事業所名　　はぴね別府

作成日　：　平成　25年　6月　18日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	向上心を持ち、介護のプロとして自己研鑽に努めるスタッフを育成する。	人材でなく、人財になる（人財育成）	①多くの社員が社内研修（主に大阪で開催）に参加する。 【9部門の研修に参加】 施設長研修・生活相談員研修・ケアマネ研修・ケアリーダー研修・ナース研修・現任ケアスタッフ研修・認知症ケア研修・リスクマネジメント研修・新人研修 ②施設内研修の講師をスタッフが担当する（自己の知識を高め、伝え方を学ぶ）	12 ヶ月
2	23	利用者様の思いや希望、意向の把握を行い「利用者本位の生活」の実現。	センター方式を取り入れ、実践する。	①7月より勉強会実施 ②各担当1名ずつ取り組み開始（新人はリーダー指導の下、取り組む） ③ご家族に取り組み状況を報告。 ④取り組み成果検討会実施。	12 ヶ月
3	26	ケアプランに沿った介護を提供しているがスタッフ自身の中に考察する能力、それを表現する能力が育っていない。	利用者様について、担当スタッフが十分把握し、ケアプランに反映できるようなモニタリング・アセスメントが出来る様になる。	①ケアスタッフに担当利用者のモニタリングとアセスメントの方法・記録の仕方を指導する。 ②サービス担当者会議の席で意見を交わし、考え方・記録の仕方を実際に学ぶ。 ③作成した記録についてアドバイスを受ける（計画作成担当者・リーダーより） ④繰り返し作業する事でケアプランの意義を深く知り、プランに反映させて介護に取り込む。	12 ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。